

カトリック山手教会月報

やまて



編集・発行 カトリック山手教会 広報委員会 〒231-8652 横浜市中区山手町44番地
☎ (045) 641-0735 <http://catholicyamate.org/>

第673号 2026年3月8日

2026年度 信徒大会を終えて

2月8日(日)、カトリック山手教会は朝から雪に包まれました。雪が止みかけた11時30分のミサの後、2026年度の信徒大会を執り行いました。私は、今年度より教会委員長という重責を拝命し、その最初の重要な仕事となる信徒大会の進行を務めさせていただきました。

信徒大会は、主任司祭である鈴木真神父様から温かなご挨拶と祈りによって幕を開け、配付した信徒大会の資料に基づき、2026年度における活動方針、信徒の動静、昨年度の活動、新年度における各委員会と代表者の紹介および2026年度の活動計画について私から説明をさせていただき、財務の佐藤さんから昨年度の会計報告および今年度の予算についての概略を報告いただきました。

今年度皆様に意識していただきたいのは、共同体としての「つながりの深化」です。カトリック山手教会は横浜司教区における司教座聖堂ということを踏まえ、「全員参加型」の共同体として私たち信徒がキリストに連なる者全員による祈りと奉仕を表すことが重要であると考えております。また、次世代を育む「希望の教会」として子どもたちや若者の育成を通じて将来にわたって神の愛をあかし続けることも重要であり、将来の教会の主役になっていただくことを考えなければなりません。幸いにして山手教会では毎年多くの新受洗者を迎えています。この恵みに感謝し、その喜びを拡大できるようになれば幸いです。

さて、信徒大会の主な説明を終え、質疑応答では、信徒の皆様から極めて重要かつ厳しいご指摘を多数いただきました。特に、昨年も指摘いただいた「教会の掲示板の改善」が未着手であるというご指摘、また「2025年聖年の振り返り」により次の聖年に教訓を生かす試みが重要であることへの言及、そして配付資料の一部記載に誤りがあった点など、信徒大会の資料を作成した者として深く反省すべき事項が浮き彫りとなりました。

これらの声は、皆様がこの山手教会という共同体をいかに大切に思われているかの表れであり、委員長としてその重みを痛感しております。資料の正確性を期すことはもちろん、一度お約束した改善事項が滞ることのないよう、今年度はより一層の実行力を発揮して参る所存です。

また、新たな試みとして「ご意見箱」の設置を提案いたしました。皆様が日頃感じておられる気づきを直接伺う機会を設けることが、現在の山手教会には不可欠だと考えております。すべてに応えることは難しくとも、皆様の思いを運営の糧とさせていただきます。

最後は「アヴェ・マリアの祈り」を唱え、聖母のご加護のうちに閉会いたしました。

至らぬ点多々あるかと存じますが、鈴木神父様のご指導を仰ぎつつ、新委員一同、精一杯奉仕してまいります。皆様の温かなお力添えと、お祈りを心よりお願い申し上げます。

(教会委員会 委員長 宮 裕一)